

# 市議会だより さつて

## 100号までの軌跡



1997年2月 創刊号



1997年5月 No.2



2004年2月 No.29



2004年11月 No.32



2005年2月 No.33



2008年5月 No.46



2011年5月 No.58



2012年2月 No.61



2012年8月 No.63



2013年5月 No.66



2014年11月 No.72



2015年11月 No.76



2017年5月 No.82



2018年5月 No.86



2019年5月 No.90

市議会だよりさつて表紙の数々 ※上記表紙の画像はHPでご覧いただけます。

## 9月定例会のおもなことから

- ・ 9月定例会議案 ..... 2～4 ページ
- ・ 各常任委員会での審査 ..... 5～7 ページ
- ・ 市政に対する一般質問等 ..... 8～15 ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記 ..... 16 ページ

No.100  
2021年  
11月

# 令和2年度一般会計決算を認定

歳入総額 **227億7,382万円**  
(前年度比 33.2%増)

歳出総額 **218億7,605万円**  
(前年度比 33.4%増)

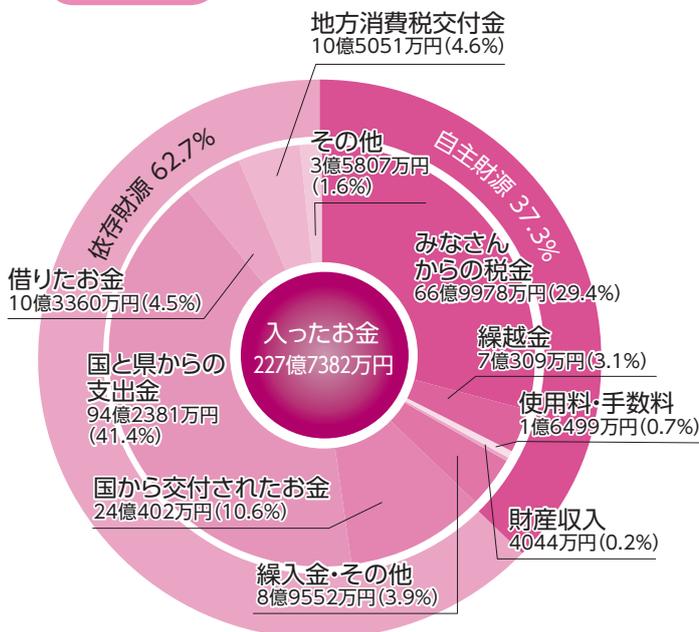
**形式収支額**  
**翌年度へ繰り越すべき財源**  
**実質収支額(決算剰余金)**

**8億9,777万円**  
**954万円**  
**8億8,823万円**

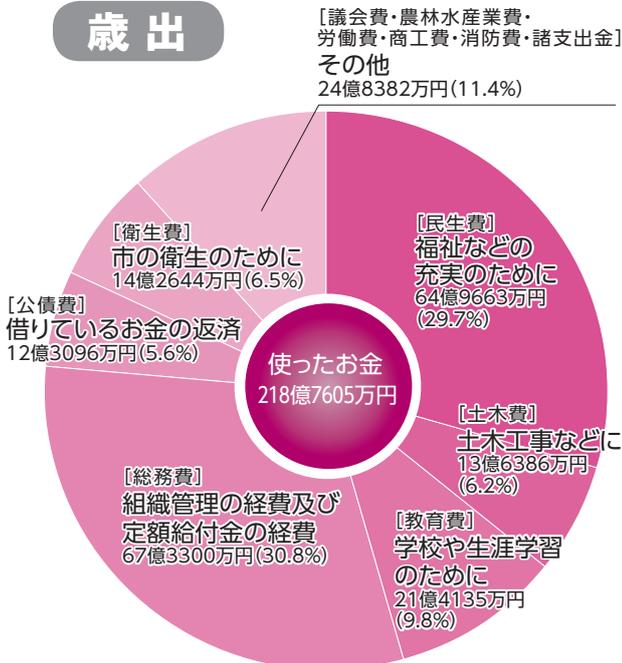
令和2年度一般会計の決算状況

9月定例会

歳入



歳出



新型コロナウイルス関連で大幅増

歳入では、新型コロナウイルス対策のため国庫支出金が83億5355万円、対前年度費59億5270万円、247.9%の増となっています。この中には、

特別定額給付金事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が含まれています。歳出で増額要因となっているのは、次のとおりです。総務費では、市民一人に10万円を給付

令和3年9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開かれました。市長提出議案は、水道事業会計未処分利益剰余金の処分1件、令和2年度一般会計決算の認定・特別会計決算の認定8件、条例改正案4件、市道路線認定・変更2件、令和3年度一般会計・特別会計補正予算7件、人事案件1件の合計23件でした。また、議員提出議案は1件でした。審議の結果、いずれも原案の通り認定、可決、同意されました。一般質問は、13人の議員が市政をただしました。

一般会計・特別会計の決算状況

一般会計及び特別会計決算では、次ページ下欄にあるように歳入決算額から歳出決算額を引き、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額がすべて黒字でした。

する特別定額給付金。民生費では、子育て世帯への臨時特別給付金。衛生費では、水道料金負担軽減補助金。商工費では、キヤッシュレス決済負担金。教育費では、GIGAスクール関連のタブレット端末代があります。

**令和3年9月定例議会  
本会議議案質疑内容**

(議案第54号)

**令和2年度幸手市介護  
保険特別会計歳入歳出  
決算の認定について**

**質疑**

3か年にわたる高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の最後の決算を終え、第7期の総括を伺います。

**答弁**

重点施策に絞り総括しますと、1点目、介護予防の推進として、身近な地域で介護予防教室や出前講座等を実施しました。2点目、在宅生活の充実として、生活支援、介護予防サービスの体制整備に向けて生活支援コーディネーターを配置しました。3点目、認知症対策の推進として、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所の介護支援専門員による、相談支援体制の充実を図りました。最後に、医療・介護のネットワークづくりとして、幸手市、杉戸町

及び北葛北部医師会との協働により、医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネージャーなどの多職種による連携体制を整備しました。  
次に、第7期計画期間で見込んだ保険給付費と地域支援事業費の総合計画に対する決算状況については、3年間を通しては、おおむね計画どおりに進んだものと考えています。

**質疑**

地域包括支援センターは、予算から決算から事業計画から評価から、全部介護保険運営協議会が携わると思いますが、どうなのかを伺います。

**答弁**

地域包括支援センターの予算等についても、介護保険運営協議会において議題に挙げていますので、こちらについては、地域包括支援センター運営協議会の役割を果たしていると考えています。

(議案第56号)

**令和2年度幸手市幸手駅西口  
土地区画整理事業特別会計  
歳入歳出決算の認定について**

**質疑**

令和2年度幸手駅西口土地区画整理事業繰越明許費の繰越額6293万3千円に含まれる、物件移転補償費862万6千円の社会資本整備総合交付金の充当について伺います。  
また、幸手駅西口土地区画整理事業の今後の見通しについても市長にお伺いします。

**答弁**

物件移転補償額862万6千円については、社会資本整備総合交付金の充当はございません。  
幸手駅西口土地区画整理事業の今後の見通しは、現在は一部のみの供用となっている都市計画道路西口停車場線、都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線及び駅前周辺の整備を優先して行っております。

**人事案件**

**教育委員会委員**

古沢 万友実 氏

を任命することに同意しました。

令和2年度一般会計・特別会計の決算状況

(単位：円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計	22,773,822,435	21,876,051,564	9,543,000	888,227,871
国民健康保険特別会計	5,774,255,762	5,631,217,388	0	143,038,374
後期高齢者医療特別会計	678,783,616	673,535,818	0	5,247,798
介護保険特別会計	3,950,118,198	3,773,495,006	0	176,623,192
農業集落排水事業特別会計	39,471,555	36,542,768	0	2,928,787
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	481,342,979	381,271,430	62,933,000	37,138,549
水道事業会計(収益的収支)	1,033,914,871	986,767,065	0	47,147,806
公共下水道事業会計(収益的収支)	697,321,701	677,382,460	0	19,939,241

※水道事業会計及び公共下水道事業会計は税抜きです。

**(議案第51号)  
令和2年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定について**

賛成討論

四本 奈緒美

令和2年度幸手市一般会計歳入歳出決算において実施された施策を見ますと、総務分野においては、国の新型コロナウイルス感染症対策の特別定額給付金、市民全員への一律10万円給付において、迅速に市民の手に届けられたことを評価します。

民生分野においては、新生児特別定額給付金として10万円を支給したことは、コロナ禍での出産を迎えた家族に大変喜ばれ、評価します。

商工分野においては、1人あたり2千円のハッピーエール応援券発行事業は、コロナ禍で苦勞をする市民、事業所も支援をすることが出来、地域経済の活性化に繋がったことを評価します。

消防分野においては、段ボールベッドや検温カメラ等の備品を整え、液体ミルクを備蓄したことは、市民の安心安全に直に繋がるものであると評価します。

教育分野においては、新たな時代への学習の為に、児童・生徒に1人1台のタブレット端末を整備した事により、コロナ禍での学びを確保・継続することが出来たことを評価します。依って、公明党は賛成討論とします。

賛成討論

武藤 壽男

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による死亡者も発生され、市主催の行事や事業も中止になるなど、地域経済も市民生活も大きく変容しました。

令和2年度幸手市一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額22億7338万2435円、歳出決算額218億7605万1564円となりました。

歳入は、自主財源の主たる財源である市税は、対前年0.7%減の66億9977万5422円、国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対策補助金など83億5355万3536円と増額し、依存財源は142億7000万9847円となり、多額の依存財源で賄われました。

歳出は、民生費としては64億9663万4056円、新型コロナウイルス感染症対策費など

補助費等の決算額は77億3556万8千円でした。

地方創生臨時交付金等の活用を要望してきたが、ハッピーエール応援券発行事業等に、総額6億9673万8262円の事業を実施し、市民への生活支援、経済支援、教育支援として成果があったと評価します。

投資的経費は、10億4499万6千円、維持補修費は1億412万6千円程の僅かの充当でした。

決算時点財政状況は、143億3950万2千円の市債残高、財政調整基金など基金残高は、8億7668万4千円となり、緊急時に備える基金として危機的であり厳しい財政運営となりました。

**(議案第56号)  
令和2年度幸手市幸手駅西口  
土地区画整理事業特別会計  
歳入歳出決算の認定について**

反対討論

大平 泰二

事業認可後から令和2年度までの事業費の合計及び財源内訳について市は、土地区画整理事

業費31億4803万円、人件費約5億1700万円、公有財産購入費5億3593万円を合計した事業費が約42億円と市は報告しました。

当初市が公表した重点プロジェクト28の試算では一般財源が13億7382万3千円でしたが実際に多かった予算は19億3341万円となり5億5959万円予算が多かったこととなります。

駅西口事業の最終年度については令和18年3月31日までとし、総事業費が75億7900万円。令和2年度までの事業費31億4803万5千円を差し引いた約44億3100万円の事業費がかかる見込みとの答弁でしたが、今までの計画より一般財源を5億5959万円も多く使っていることを見た場合、総事業費が75億7900万円で済まない事は明らかです。

総工事費・工事期間・経済的効果、全て不明の駅西口土地区画整理事業、今後は久喜新道と御成り街道を繋ぐ道路、駅前の停車場線を真っ直ぐにする事業にしほり、後は全て区切りのいいところで中止すべきです。

総務常任委員会

令和2年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定  
(議案第51号)

**問** 歳入において、納税猶予の件数は。

**答** 一般的な地方税法による納税猶予は無い。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、事業等における収入に減少があった方について、1年間に限り、徴収猶予をできる特例制度があった。この制度は、令和2年2月1日から令和3年2月1日までに納期限が到来する、個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税について、無担保・延滞金なしで徴収猶予をするもの。市内では、93件の申請があり、91件の許可が出ている。

**問** 歳出において、シティセールスの推進の取り組みで、SNSの種類、その開始時期、およびアクセル件数は。

**答** 活用しているSNSの種類は、フェイスブック・ツイッター・インスタグラムの3種類。それぞれの開始時期は、フェイスブックを平成30年7月、ツイッターを令和元年9月、インスタグラムを令和2年11月から活用している。また、フォローワー件数は、令和3年8月時点で、フェイスブックが500件、インスタグラムが479件、ツイッターは累計数で1,149件である。

今後、若い方だけでなく、いち早く、幅広い年齢層の方にご覧いただけるよう、幸手市の魅力を発信していきたいと考えている。

**問** 予備費は、緊急の事態等があったときに対応できるように、予算に計上しなければならぬという規定だが、今回、3016万3千円がほかに充用されている。この予備費の充用の考え方と、また、どのような判断で使われているのか。

**答** 基本的には議決主義なので、緊急な事案が発生した場合でも、

間に合えば、補正予算等に計上し、予算執行をする。しかし、タイミングによって間に合わないような場合のために、予備費を計上しており、水害等が突然発生してしまつた時などに、予備費で対応している。

令和3年度幸手市一般会計  
補正予算(第4号)  
(議案第65号)

**問** 歳入において、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金の内容は。

**答** ワクチン接種に対する費用については、現時点において、4月から9月までの補助金が交付されている。今回の追加分として、11月までの費用と併せて、高齢者の接種を早く進めるための、接種会場の増設や、小中学生や妊婦の方を対象とした接種券の発送、また、接種人数の増加に伴う医療従事者の経費等を計上した。

**問** 歳出において、諸支出金の中で計上されている、子育て応援基金1億円は、ふるさと納税寄附金1億円と符合しているが、この

寄附金を充てたものか。

**答** 寄附金1億円を財源としたもののなかには、子育て応援基金のほか、地域福祉基金等へ振り分けをして、子どもから高齢者までの健康・福祉に関する事業の財源に充てさせていただいた。

お知らせ

◆12月定例会の開催予定◆

令和3年12月定例会は、11月30日(火)から12月21日(火)までの22日間にわたって開催する予定です。

◆12月定例会の主な内容◆

- 11月30日 開会・会期の決定・報告事項・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 12月1・2・3日 市政に対する一般質問
- 9日 議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 10日 総務常任委員会
- 13日 文教厚生常任委員会
- 14日 建設経済常任委員会
- 21日 委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

## 文教厚生常任委員会

### 令和2年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第51号)

**問** 在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金の内容とは。

**答** 人口呼吸器を使用する等、医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障害児等を介助する家族の精神的・身体的負担の軽減を図るために、ショートステイ促進事業とデイサービス促進事業を実施する事業者に補助金を交付する事業で、利用者は2名、事業所は3か所、利用回数は述べ42回である。

**問** 合併処理浄化槽設置事業補助金の補助内容は。

**答** 本体設置費、処分費及び配管費が補助対象で書類審査を行う。補助限度額は、5人槽の場合、単独槽から合併浄化槽への切り替えが63万2千円、汲み取り槽からの切り替えが49万2千円、7人槽の

場合は、単独槽からの切り替えが65万8千円、くみ取り槽からの切り替えが54万6千円である。

**問** 住宅用太陽光発電システム設置費補助金の執行状況、P/R方法は。

**答** 補助件数は17件で、補助額は上限の8万円が多く、少ない額は5万2千円であった。P/Rとしては、4月にホームページ、広報紙に掲載を行った。今後はさらに周知を検討して行きたい。

**問** 消防費の防災士資格取得受講料による受講者の人選は。

**答** 危機管理防災課に異動してきた職員と水害対策班に入っている若手職員から選出している。基本的には水害対策班の中からの人選となることから、必要に応じて保育士など、必要な施設を管理する職員も受講対象としている。

**問** 中学校費の機械器具費626万3千9736円の内容は。

**答** GIGAスクール用タブレット端末を購入したもので、購入に当たり各学校からICT推進の委員を募り、検討会で機械を決定、9社の入札により端末を決定した。



▲タブレット学習

### 令和2年度幸手市国民健康保険 特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第52号)

**問** 糖尿病性腎症重症化予防業務委託料の対象人数の減少理由は。

**答** 対象者のうち、実施者、修了者について、保健指導、保健師の面談にコロナ禍の影響があったのではと考える。国保連合会でも今年度は電話での指導など新型コロナウイルス対応をしているところである。

### 令和3年度幸手市一般会計 補正予算(第4号) (議案第65号)

**問** 子育て支援センターインターネット環境整備工事の内容は。

**答** 現在、子育て支援センターにはインターネットの環境がない。事務効率化のためのインターネット設置工事と、今後のオンライン相談等を想定した整備工事を行う。

**問** 学校管理費の修学旅行取消料の内容は。

**答** 中学校3校の京都・奈良への修学旅行のキャンセル料で、旅行者の企画料として請求を受けたものである。

### 令和3年度幸手市介護保険 特別会計補正予算(第1号) (議案第68号)

**問** 債務負担行為の地域包括支援センター業務委託の今後の契約は。

**答** 年内に公募を行い、介護保険運営協議会に報告。年明けには決定する予定である。選考方法は、東西センター別々に公募し、選考委員会で評価をし決定する。

建設経済常任委員会

令和2年度幸手市一般会計  
歳入歳出決算の認定  
(議案第51号)

**問** 市営釣場神扇池土留工事の内容は。

**答** 市営釣場の東側護岸が傾いたことにより、隣接する市道1728号線が崩落するおそれが生じたため、緊急工事として予備費を充当した、工事内容は、東側延長56メートル、幅4メートル、深さ3メートル。さらに、南側の一部として、延長5メートル、幅4メートル、深さ3メートル。それに、ずりを1250立方メートル搬入し、土留め工事を行った。

**問** 古川橋架替工事8千8万円の内容は。

**答** 令和2年度に実施した工事は、仮設撤去工事で、内容は、迂回路であった仮橋の撤去工事、護岸工事、舗装工事である。この工事は、古川橋設計業務委託料で仮設の仮

橋の撤去方法等を検討し、経済的な工法を選定した。

令和2年度幸手市幸手駅西口土地  
区画整理事業特別会計歳入歳出  
決算の認定  
(議案第56号)

**問** 事業計画変更等業務委託料1379万9500円の内容は。

**答** 内容は3点あり、1点目が、権利調査補正業務で、権利者の再調査を行った、2点目は、各種資料作成補助業務で、区画整理事業を進める上で必要書類の整備である、3点目は、事業計画変更業務を行っており、現在、埼玉県の認可取得するための協議中である。

令和2年度幸手市公共下水道  
事業会計決算の認定  
(議案第58号)

**問** 汚水中継ポンプ場関係修繕費の修繕工事内容は。

**答** 6つの修繕工事で、1つ目がVPSバッテリーの交換修繕工事、2つ目が重量計変換器の修繕工事、3つ目が中継ポンプ場活性炭の交換工事、4つ目が圧力水配管修繕工事、5つ目がし渣移送管の修繕工事、6つ目が中継ポンプ場の浚渫工事を実施した。

幸手市地区計画区域内における  
建築物の制限に関する条例の一部  
を改正する条例 (議案第62号)

**問** 幸手駅西口地区、地区整備計画区域におけるA地区・B地区、それぞれの場所は。

**答** 幸手駅西口停車場線の沿道を指定している。A地区は、駅西口から幅員9メートルの区画道路までを、B地区は、幅員9メートルの区画道路から杉戸幸手栗橋線の交点までを定めている。今回、地区計画を定める目的は、西口停車場線沿道が市の玄関口にふさわしい、にぎわいを創出するためのものである。



令和3年度幸手市一般会計  
補正予算(第4号)  
(議案第65号)

**問** 土地開発公社所有地購入費の内容は。

**答** 土地開発公社が先行買収していた土地のうち、1筆660平方メートルを当時購入時の簿価で市に買い戻す。用地費6834万3千円、諸経費6万8400円、令和3年度末までの利息が1676万7883円である。場所は南3丁目のまちづくり事業課の旧事務所北側の公園があった所である。

令和3年度幸手市農業集落  
排水事業特別会計補正予算  
(第1号)  
(議案第69号)

**問** 農業集落排水維持管理費の修繕料610万5千円の内容は。

**答** 第1曝気槽のかく拌機交換工事、577万5千円を予算計上した。また、鉄溶液注入ポンプ更新として2台のうち1機の更新を予定、33万円の予算計上をした。

# 市政に対する

## 一般質問

今定例会では、13人の議員が9月2日、3日、6日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

### 坂本達夫議員

- 循環バスについて
- 商工観光課に設置した「工業団地等相談窓口」について
- 幸手市のサクラについて
- 窓口トラブルについて

### 四本奈緒美議員

- 防災・減災対策について
- がん患者の負担軽減について

### 本田謡子議員

- クビアカツヤカミキリについて
- コロナ禍の幸手市の対応や対策などについて
- 介護関係のワンストップ窓口について

### 小河原浩和議員

- 市長の選挙公約実現に向けた進捗状況とその課題について

### 海老沼隆夫議員

- 幸手市の平和都市宣言等について
- 新型コロナウイルス感染防止対策について

### 小林啓子議員

- 行政のデジタル化・情報格差対策について

### 大平泰二議員

- 介護保険制度の事業及び特別会計について
- 新型コロナウイルス感染対策について

### 松田雅代議員

- 市の学校教育内容の充実について
- 市のカーボン・ニュートラル対策への取り組みについて
- 人口問題、移住・定住政策の推進について

### 小林英雄議員

- 環境問題について
- 新型コロナウイルス感染症への対応・対策について
- 市内小・中学校の現状と将来について

### 木村治夫議員

- 公共施設アセットマネジメントの推進について
- 農業生産基盤の整備と優良農地の保全について

### 枝久保喜八郎議員

- 住みやすい街づくりについて
- 新庁舎建設資金の考え方について
- 「いじめ」に対する見解について

### 武藤寿男議員

- 職員の時間外勤務(残業)の状況とその要因、職員の勤務の市の現況と方針について
- 新型コロナウイルス感染症の市の現状認識と対応について

### 藤沼貢議員

- 人口問題について(市長選挙公約)

## 9月定例会

傍聴者		
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、傍聴を中止しました。		
議会インターネット中継のアクセス件数		
7月 45件	8月 31件	9月 2,201件
の方が視聴されました。		

9月定例会 会期日程
9月1日(本会議)
・開会・会期の決定
・報告事項
・市長提出議案一括上程、提案理由説明
9月2日・3日・6日(本会議)
・市政に対する一般質問
9月10日(本会議)
・議案に対する質疑
・議案の委員会付託
9月13日・14日(委員会)
・文教厚生常任委員会
9月15日(委員会)
・総務常任委員会
9月17日・21日(委員会)
・建設経済常任委員会
9月29日(本会議)
・委員長報告、質疑、討論、採決 ・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

## 窓口トラブルについて



坂本達夫議員

**Q** 市役所には、多くの窓口があります。そこには様々なトラブルが発生しています。窓口に来る市民も高齢化しており、その市民をフォローする仕事も窓口の大切な仕事です。その意味で窓口の重要性は高まっています。

私は、全ての窓口トラブルの事例を集め、市民のための仕事

のやり方や能率的、効率的な事務処理の方法を組織的に検討し、各課に改善策を提言する「窓口改善担当」を設置すべきと考えます。市長の意見を伺います。

**A** 市が所管する業務は、多岐にわたり専門的な知識が伴うことから、窓口トラブルについては、業務を熟知する原課が解決に向けた対応をすることが基本と考えます。

新たに窓口改善担当を設置す

る考えはありませんが、窓口トラブルに対しては、直ちにその原因を分析し、その結果について部内や関連窓口との情報共有を行うとともに、接客の際の意識改革や事務改善について部課長会議等で引き続き注意喚起を図ってまいります。

(市長)

## 災害時の正確な避難場所開設情報を市民に



四本奈緒美議員

**Q** 災害時に市民が安全に避難をする為に、避難場所の開設状況、混雑状況、地の情報を、随時スマートフォンやパソコンを使って一目で確認出来るソフトが開発され、民間企業が専用サイトを通じて無償提供をしている。

令和元年、台風19号の際には、避難場所が開設されず混乱を招

いた所があった。市民に正確な避難場所の開設情報を提供出来る有益なサービスと考えるが、幸手市の導入の考えを伺う。

**A** このサイトは、最寄り混雑度をパソコンやスマートフォンで確認できるサービスで無料で提供しているもので、近隣自治体でも導入したというこ

とは確認している。このサービスは、いざという

時の避難行動に役立つものと感じている。

今後において、情報発信の効果だけでなく、導入するうえでの課題なども研究する必要があるため、先行事例の情報を収集し、検討したいと考えている。

(市民生活部長)



ひなんばしょ  
避難場所

## コロナ禍の自宅療養者の支援を早急に



本田 謡子議員

**Q**

新型コロナウイルス感染者が7月には最高値、続く8月にはその4・8倍と急増し、自宅療養者も増えている。幸手市は自宅療養者の支援に対し、県より早く「自宅療養パック」を始めたが、その情報が市民へ届いていない。自宅療養で困っている市民へどう支援の手を差し伸べるのか、必要な情報の周知

**A**

自宅療養パックは、本人に対しても支給できるよう制度を変更した。このことを、保健所を通じて該当者へ情報が届くよう周知をお願いしたほか、市ホームページでお知らせをしている。

また、公共施設へのポスター掲示等についても機会を捉えて

努力していく。

市長として「市民の命を守る」ことは、今までも心掛けて行ってきた。これからも心を締め、タイムリーな判断を自分の責務として捉え、対応したいと思っている。

(市長・健康福祉部長)

## 選挙公約実現に向けた進捗状況とその課題は



小河原 浩和議員

**Q**

木村市長には選挙戦において、市民本位の政治を推進することを強く訴え、魅力的な公約を掲げ当選され、市政の総点検をするとし、早2年が経過、任期の半分を迎えたところです。

市政総点検が何割くらい進んだのか、公約実現のロードマップはできたのか伺う。

**A**

市長に就任して以降、約2年にわたって、市政に一生懸命、取り組んできたが、現段階でその道程は未だ半ばであり、具体的な数字については申し上げられない。

今後は引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策に万全を期す一方で、自身の公約に資する取組みについても加速度的に進めていく所存である。

ご質問にあったロードマップについては、公約実現に向け、

適切に行財政運営を進めていく一環として作成する予定である。

(市長)



## 幸手市の平和都市宣言などについて



海老沼隆夫議員

**Q**

幸手市は一九九〇年に近隣市町村に先駆けて平和都市宣言を行い、二〇〇年からは広島での平和記念式典には、「平和の作文」の入賞者を派遣して来た訳ですが、コロナ禍により、昨年と今年は出席が叶わずに生徒さんには残念な思いをさせてしまいました。入賞者を派遣することの出来

**A**

現在、「平和の作文」の取り組み自体は、現在どの様になっているのか、また、入賞者にはどのような指導・対応がなされているのかを伺います。

平和の作文事業については、市内3校の全ての中学3年生が参加して、平和をテーマとした作文の中から最優秀など12作品を選定し、7月9日に表彰式を実施しました。入賞作品は「平和の作文集」

(教育長・総務部長)

## 行政のデジタル化・情報格差対策は



小林啓子議員

**Q**

9月1日より国では、デジタル庁が発足した。デジタル化が進む中、デジタル技術を使いこなせる方、そうでない方の「デジタル格差」の解消が重要である。幸手市として、スマホの操作が苦手な市民のために、相談窓口の設置や、デジタル推進室などの設置が必要と思うが、幸手市としての考えを

**A**

また、幸手市として公民館等を利用して、スマホの講習会等を行うことが望ましいと考えるが、WiFi等の資源は整っているのかを伺う。

行政のデジタル化への対応については、国の動向を注視しつつ、情報化の進展に合わせた適切な業務の執行、またその業務を担当するに適切な組織を検討していく。

(総合政策部長)

## 臨時医療施設設置について



大平泰二議員

**Q** 8月の幸手市の感染者は247人と7月の4.8

倍と急激に増え、治療が追いつかない事態だ。このため家庭内療養を余儀なくされる事態となっている。このことが感染拡大を広げる要因となっている。感染拡大や重症化を防ぐために市内のホテルの借り上げ、またはアスカル幸手の体育館か

ホールを活用した臨時医療施設（初期治療）を設けることを市が埼玉県に提案することについて伺う。

**A** 新型インフルエンザ等対策特別措置法により、臨時の医療施設において医療を提供するのは都道府県知事となっており、市は設置することができない。

県に確認した時点では、ホテルや公共施設に臨時の医療施設

を設ける予定はないとのことであった。

市は自宅療養者の生活支援として、療養期間中の食料品や日用品を支給し、保健所へ市保健師を派遣している。今後も市民の安心安全に繋がる支援を検討していく。

（健康福祉部長）

## 市の学校教育を支える体制の強化を



松田雅代議員

**Q** 2018年度から幼稚園の、2020年度より

小学校の、2021年度から中学校の教育指導要領が改訂を迎えている。さらに今年1月、中央教育審議会が『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」を答申。学校教育の大改革が進む。市の教育はどう変わるのか。今後の取り組みのポイントを伺

う。  
また、教員の働き方改革、子どもたちの学びの質的变化に対応するマネジメントに必要な機能や人材、体制の強化は必須。教育長、市長の考えを伺う。

**A** 新しい義務教育の在り方を踏まえて作成した、

学校教育のグランドデザインに基づき、学びのサイクルの充実、不登校等児童生徒への支援、一人一人に応じた体力及び健康課

題の解決等に向けた改革が必要となる。

教職員が本来行うべき業務に専念できる体制づくりの構築を進めるとともに、特にGIGAスクール構想の実現、教育相談体制の充実等を強化し、教育長と相談・連携しながら今後について積極的に検討していく覚悟である。

（市長・教育長）

## 新型コロナウイルスワクチン接種は



小林英雄議員

**Q**

新型コロナウイルスから、市民を守るためのワクチン接種は、新型コロナウイルススワクチン対策室の綿密な準備、スタッフの連携のもとに、若い世代にまで順調に進んでいる。これまで経験したことのない大規模集団接種の運営に当たっている対策室は、膨大な業務量、土日出勤等により、慢性的な長時間労働となっており、職員の心身の健康が損なわれることが強く懸念される。これを是正するためには、現在4人である対策室職員の増員等が必要と考える。市の対策について伺う。

**A**

新型コロナウイルススワクチン接種の業務量は膨大なため対策室職員4人だけでなく、全庁職員が一丸となり対応している。

接種業務には、会場設営、医療従事者の確保、接種業務の従事等、様々な業務があり健康増進課をはじめ総務部において全庁から応援職員を派遣する等、役割分担により運営している。

また、9月から併任により職員1～2人の配置を予定する。

今後も全庁的な応援体制により対策室の業務負担を軽減し、職員の健康の確保に努めたい。  
(総務部長)

## 農業生産基盤の整備と優良農地の保全を問う



木村治夫議員

**Q**

(1) 農業者の生産意識の変化等に対する、適切な施策について伺う。  
(2) 本市農業の農地の農業上の有効利用実態等について、市は適切に把握し、対策を講じているのか伺う。  
(3) 市として、優良農地保全の観点から、通称、赤道あかみちと言われる道路等の問題について伺う。

**A**

以上、3項目について伺う。

農業者の生産意識の変化や農地の農業上の有効利用実態等に対する施策としては、「人・農地プラン」の策定や農地中間管理事業を進めている。

これらの施策について、地域の意向を把握しながら進めることで、農地の有効利用、効率的かつ安定的な農業経営につなげていきたい。

また、赤道あかみちと言われる道路等の問題については、関係する農家と事業者で行われる話し合いや、事業者へのお願いなど、市としてできる協力をしていく。  
(建設経済部長)

いじめ問題に対する指導啓発について



枝久保喜八郎議員

**Q**

平成17年のいじめ防止対策推進法の施行後も増加の途にあるいじめは、今年年間60万件を越え、児童生徒が自ら命を絶つ例が後をたちません。被害者側と加害者側双方の聴取・調査を公正に行う立場にある学校現場の保身体質が、更に状況を悪化させ、解決への道を遠くし、係争化に至る例が

**A**

多々発生している現況です。いじめ防止は期間的に強化するものではなく常に現場の対応が必要です。いじめ防止及びいじめ感知時の指導啓発等に対する教育長の見解を伺います。

とりひとりだが、「いじめは絶対に許されない行為」という意識を持つこと、教師が早期発見・早期解決の観点から、日々の子どもの達の観察や保護者との連携を図りながら子ども達の人権を守る事が大切です。教育委員会は、今後も各学校に適切な指導及び助言を継続すると同時に、いじめ防止対策を徹底してまいります。

(教育長)

新型コロナウイルス臨時的医療施設は



武藤壽男議員

**Q**

新型コロナウイルス感染症が本市に於いても8月以降急拡大をし、500人を超える状況となり、医療の逼迫などで自宅療養者が増えている。自宅療養は家庭内の感染リスク、感染者の隔離、在宅治療の診療の現状、感染者家族の食事の困難さなど、危機的な危機管理対応が必要と思われる。

**A**

救急搬送も時間がかかるなどの、在宅療養者が十分な医療機会が得られない事も発生している。今、困っている人を助けるのが市の仕事ではないか。関係機関と協議し臨時的医療施設を求める。

設置を、市町村に要請する予定は無いとのことであった。市民の健康と生命を守るために、日頃から幸手保健所と連携を図る中で、自宅療養者とその家族への療養期間中の食事の提供を県内でもいち早く取り組んでいるところである。今後も関係機関と密に情報共有を行い、市が行う生活支援について、検討していく。

(健康福祉部長)

## 議会報告会の延期について

例年 11 月に開催しております「議会報告会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため延期することといたしました。ご参加をご検討いただいていた皆様には、ご迷惑をおかけすることとなり申し訳ありません。

開催については、12 月定例議会で協議決定する予定であります。決まりましたら改めて市議会ホームページ等でお知らせいたしますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

意見書案第 1 号

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和 4 年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

### 記

- 令和 4 年度以降 3 年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針 2021」において、令和 3 年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
  - 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
  - 令和 3 年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和 2 年度と同額とする負担調整措置については、令和 3 年度限りとすること。
  - 令和 3 年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
  - 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 3 年 9 月 29 日

埼玉県幸手市議会議員 宮 杉 勝 男



藤沼貢議員

## 人口問題について

**Q** 市長の公約中、人口減少に歯止めをとあるがすでに本年 6 月末日に 5 万人を切ることもあったが、子育てしやすい環境整備。行政組織の活性化。財政基盤の強化。災害、くらしに強い街づくりはどう取り組まれるか市長に伺う。

**A** 人口問題は、全ての分野にかかわることから、様々な施策を職員一丸となって進める。  
若い世代の定住促進のため、子育て支援、教育の充実を図るとともに、人材育成を進めることにより、行政組織の活性化を図る。また、未来志向の街を目指し、中長期的な視点で持続可能な財政運営ができるよう財政基盤の強化を進める。そして、市民の皆様の安心・安全な暮らし

しを守るため、各種防災事業に積極的に取り組み、住みよい街の実現を図る。

(市長)



# 令和3年9月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)  
(幸手市長提出議案)

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	付託委員会	議決結果
		四本奈緒美公	坂本達夫自	海老沼隆夫共	小林英雄政	枝久保壽八郎自	宮杉勝男政	本田謡子政	小河原浩和緑	小林啓子公	松田雅代幸	木村治夫自	藤沼貢自	青木章緑	武藤壽男幸	大平泰一共		
議案第50号	令和2年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第51号	令和2年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員認定
議案第52号	令和2年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第53号	令和2年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第54号	令和2年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第55号	令和2年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第56号	令和2年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数認定
議案第57号	令和2年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第58号	令和2年度幸手市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第59号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第60号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第61号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第62号	幸手市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第63号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第64号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第65号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成全員可決
議案第66号	令和3年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第67号	令和3年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第68号	令和3年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第69号	令和3年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第70号	令和3年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第71号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第72号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

意見書案第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
---------	-----------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------

**議会広報編集委員**

委員長 宮杉勝男  
副委員長 小林啓子  
委員 四本奈緒美  
委員 坂本達夫  
委員 海老沼隆夫  
委員 本田謡子  
委員 小河原浩和  
委員 松田雅代  
委員 木村治夫

## 編集後記

「市議会だよりさって」が創刊されたのは、1997年(平成9年)2月でした。それから四半世紀、100回目の発行を迎えました。

当時を振り返ると、東京湾アクアラインの開通や消費税が5%に上がった年です。市内では、資源ごみの回収が始まった年でもあります。時代は大きく変わりましたが、今も昔も変わらないのは「市民の意思を市政に反映させる」「市民生活をより快適にする」「市民と議会をさらに身近に市民と共に歩む幸手市議会」を目指すことです。今後も議会情報をわかりやすくお伝えできるよう、議員一同全力で取り組んでまいります。